研究課題名

「内視鏡的胆管結石排石術後の結石再燃に関する後ろ向き観察研究

A cohort study of the predictive factors for bile duct stone recurrence after endoscopic stone extraction for naïve major duodenal papilla」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H28中倫小第66号）

臨床研究実施についてのお知らせ

　当院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成29年 2月 6日

【研究課題名】

内視鏡的胆管結石排石術後の結石再燃に関する後ろ向き観察研究

A cohort study of the predictive factors for bile duct stone recurrence after endoscopic stone extraction for naïve major duodenal papilla

【研究期間】

2009年1月から2014年11月

【調査対象】

当院で初回乳頭に対する内視鏡的胆管結石排石術を受けた患者様

【研究目的・意義】

内視鏡排石後の総胆管結石の再燃因子等を同定するため

【研究の方法】

利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、治療歴、症状、Performance Status、検査結果（血液検査、画像検査｟X線画像、CT画像｠、内視鏡検査）、手術に伴う偶発症の有無、結石再燃等の情報

【個人情報の取扱い】

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者様の個人情報に関しては、お名前、住所など、患者様個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

【研究機関】

消化器内科　篠浦　丞

北海道大学大学院　加藤　新

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県うるま市宮里281

沖縄県立中部病院　消化器内科　　　担当医師　篠浦　丞（しのうら　すすむ）

電話　098-973-4111 　　FAX　098-973-2703